

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

8月号 2015. 8. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方
TEL/FAX 047-431-5065
<http://www.marow.or.jp/chiba/>

日本縦断キャラバン 2015 千葉での活動 6月2日 (火)

習志野市役所

全国キャラバンが習志野市に来訪

4月24日に那覇市でスタートした全国キャラバンが6月2日に千葉県にいらっしやいました。

県内初めての訪問地として、習志野市役所に梅田会長他5名のキャラバンの皆さんがおいでになりました。県内で初めて骨髓移植ドナー支援事業を導入したということで、全国骨髓バンク推進連絡協議会会長と千葉骨髓バンク推進連絡会会長の連名で、市長に対し感謝文を頂戴しました。その後、キャラバンの皆さんから「休んでいる間の収入が不安ということで提供に踏み切れない人もいます。そういう人にとって助成制度はとてありがたい」「骨髓移植を受けて、元気な体を取り戻すことができたので、骨髓移植ドナー支援事業を広げる手助けを今後ともお願いしたい」というお話を頂戴しました。

骨髓移植ドナー支援事業を担当している者として、今回キャラバンの皆さんのお話を伺うことができたことはとても貴重な体験でした。キャラバンのご成功と、骨髓バンクの発展をお祈りしています。

(習志野市役所健康支援課)



上：副市長との懇談終了後
下：習志野市担当課様と



千葉日赤血液センター

習志野市役所の次は、いつもお世話になっています千葉日赤血液センターを訪問しました。私たちキャラバン隊を迎えてくれたのは千葉日赤の皆さんに加え、けんけつちゃんとチーバくんでした。そこで担当者の方から千葉の献血および登録の現状の説明がありました。当会からは、実行委員の私から今回の全国縦断キャラバンの趣旨の説明を、梅田会長から県内献血ルームでのドナー登録会開催をお願いしたアピール文を手渡し、最後にセンターの前で記念写真を撮り次の目的地に向かって出発しました。

当日はかなり蒸し暑い天候でしたので、特に最後の写真撮影までけんけつちゃんやチーバくんはとても大変だったと思われます。御苦労さまでした。

キャラバンカーは千葉市内の街道で多くの方に見てもう為少し遠回りをして最後の目的地である千葉こども病院に向かいました。

昼食休憩で道路脇に駐車したので、最初は驚いた方もいらっしやいましたが骨髓バンクのアピールは出来たと思います。(戸辺)

左上：懇談終了後 左下：玄関前でキャラバンカーと

こども病院へのチーバくん訪問記

今回チーバくんは、「日本縦断キャラバン」の活動の一環で千葉県立こども病院に訪問しました。ここでチーバくんは、骨髓移植に多大なる貢献をいただいている院長先生とお会いしました。院長先生は笑顔で、今後も骨髓移植を頑張ってくれると言っていました。

その後、平成21年3月に骨髓移植・さい帯血移植1万5千例を記念して植樹した「ありがとうサクラ」を見学しました。「ありがとうサクラ」は、骨髓移植した患者さんの姿を映し出すように、元気にすくすく育っていました。

最後にチーバくんは、病院のロビーで骨髓バンク推進キャンペーンのお手伝いをしました。こども達は写真を撮ったり、握手したり大喜びでした。

(千葉県健康福祉部薬務課 春田)

<参加したチーバくんからのメッセージ>

千葉県骨髓バンク連絡会の皆さんと一緒に骨髓バンク推進キャンペーンのお手伝いをしたんだよ。ひとりでも多く人が協力してくれるといいな！！

右上：懇談終了後キャラバンカーと 右下：病院内チーバくんと



全国協議会総会、ボランティア大会報告

総会、代表者会議

5月30日、全国協議会の2015年度通常総会が全労災東京会館にて開催されました。議案（2014年度事業報告、2014年度収支決算及び事業・会計監査報告、2015年度予算・役員を選任）は議論の後、全て承認されました。

役員改正では2名の新副会長のご紹介がありました。又、千葉の会からは野平さんが理事を退任され、荒井・野沢さんが引き続き理事として承認されました。

総会後は引き続き代表者会議が開催されました。北海道から沖縄まで全国各地の活動報告を興味深くお聞きしました。各地とも、ドナー登録者が年々卒業していくので登録推進しても実質目減りしていく中で、登録者をどう増やしていくか、そして若年層への普及啓発をどのように進め、登録者につなげていくか等々考え、情熱をもって推進している様子に感銘を受けました。

設立25周年記念事業のメインである、日本縦断キャラバンも真っ最中の時で、各県の取り組みもお聞きすることができました。（北村美）

ボランティア大会

昨年来、実行委員会で協議を続けてきた25周年記念大会が5月31日に早稲田大学国際会議場を会場に開催されました。

実行委員は、午前7時に指定宿泊先の新宿のホテルに集合し、ミーティングのち早稲田に移動、それぞれの持ち場で開会に備え準備を行いました。

当日は晴天にも恵まれ、来賓をはじめ全国から骨髄バンクボランティア、また、韓国、オーストラリアからは日本からの骨髄提供を受けた患者さんなど大勢の参加となり、式典に続き、国際シンポジウム、市民シンポジウムが開かれ、成功裏に閉会となりました。

また、沖縄を出発した全国キャラバンの車も展示され、多くの皆様にご覧いただき、翌日には再び北海道に向け旅立ちました。（石橋）



上：総会、代表者会議の様子
中：ボランティア大会の様子
下：大会参加者の記念撮影

登録会報告

柏献血ルーム 6月8日

「前はバタバタして落ち着かなかったので、今回は説明コーナーを設けました」とルーム到着早々に職員さんに登録説明コーナーへ誘導され、「受付のところで声掛けしてコーナーに案内し、説明後に問診に誘導しますのでよろしくお願ひします」との説明と共に「登録希望者がお待ちです」と男性がお見えになり、名札や襷をかける間もなく説明に入りました。

その後もチャンス・ドナーカード等が入った骨髄バンク登録専用ファイルを職員さんが持ち、「説明だけかもしれませんが……」と午前中に3名、午後には5名の方を案内くださいました。職員さんから勧められたのか、全員の方が飲み物を口にしながら説明を受け、すべての皆さんが登録されました。

説明コーナーには飲み物があり、問診に呼ばれることを気にする必要もなく、落ち着いて、じっくり説明が聞けて、質問にも納得いくまで尋ねられたことが功を奏したのだと思います。とても良いルーム登録会でした。（柴谷）



柏献血ルーム



市原市役所

その他の登録会報告

	登録者	説明受講	説明員
柏献血ルーム	6月8日(月) 8名	0名	柴谷、河口
三井化学市原工場	6月24日(水) 1名	0名	説明員なし
大網白里市 保健センター	7月2日(木) 5名	1名	柴谷
多古町役場	7月2日(木) 4名	5名	円東、山本栄
富里市役所	7月6日(月) 6名	4名	円東
香取市役所	7月7日(火) 4名	0名	柴谷、北村美
市原市役所	7月16日(木) 8名	4名	西島夫妻
佐倉市役所	7月23日(木) 10名	1名	溝口、北村美
松戸献血ルーム	7月24日(金) 1名	2名	柴谷、仲田
四街道市役所	7月27日(月) 1名	2名	円東、北村美
木更津市役所	7月28日(火) 4名	5名	西島夫妻
富津市役所	7月29日(水) 5名	3名	西島夫妻
南房総市役所別館	7月29日(水) 1名	3名	円東

市原市役所 7月16日

我が家から、車で10分位のところに献血併行登録会会場となった市原市役所があります。かなり古い建物で駐車場入り口部はかなり薄暗く、しかも台風接近で雨模様。「今日は多くは期待できないかな」との不安が横切りましたが、日赤スタッフの方々に協力して頂いたおかげで、8名の方にドナー登録を頂きました。

市内人口で高齢者が増える中、今回の登録者のうち2名は、「50代で制限時間切れになるかもしれません」と笑い話になりました。（西島隆）

骨髄移植（BMT）

私たちの血管を流れている血液細胞は骨髄でつくられます。骨髄の中には造血幹細胞といわれる血液の種のようなものがあり、それが赤血球、白血球、血小板に分化増殖して末梢血に流出し、それぞれの機能を果たします。

骨髄移植は、病的な骨髄を健康な骨髄に入れ替えるものです。この点において骨髄移植は腎臓など臓器移植と同じです。そして入れ替えられたドナーさんの骨髄からドナーさん由来の赤血球、白血球、血小板が移植により作られることとなります。臓器移植と比べて複雑なのは、白血球の一つであるリンパ球（免疫をつかさどる）の働きが全身に及ぶということです。すなわち、ドナーさんのリンパ球は患者さんの体を他者と認識し攻撃する可能性があります。これを移植片対宿主病（GVHD、後述）と言います。

このGVHDを予防するために、白血球の血液型（ヒト白血球抗原、HLA）をあわせたドナーさんから移植をしますが、それでも完全にGVHDを予防することはできません。体の中には一万を超えるタンパク質があると言われていいますので、HLAをあわせても、たくさんの違いが残るためGVHDが起こるのも当たり前かもしれません。（疾患・治療編 P-147より）

千葉の会 25周年事業

骨髄バンクチャリティコンサートと落語会を成田山新勝寺で開催します

本年11月28日（土）「骨髄バンクチャリティコンサートと落語会」を成田山新勝寺信徒会館にて開催する運びとなりました。

昨年は全国骨髄バンク推進連絡協議会の前会長12代目市川團十郎丈の一周忌の年でしたので、團十郎前会長を偲んで、新勝寺様のご厚意並びに多くの方々のご支援を頂きコンサートを開催、盛況に遂行出来ましたことを、心から感謝申し上げます。

本年は私ども千葉骨髄バンク推進連絡会設立25周年にあたり、記念事業としてコンサートと落語会を開催することになりました。

途中、骨髄提供者と移植を受けお元気になられた元患者さんのミニトークを交え、骨髄バンクのご理解を深める一助になればと思っております。またご来場の皆様には、三戸素子さん、小澤洋介さんの弦楽二重奏並びに桂右女助師匠他の落語、成田山の紅葉などを堪能して頂ければ幸いです。多くの方のご来場をお待ちしております。

ドナー助成制度について 3

千葉県内で最初にドナー助成制度を導入した習志野市の状況について伺いました。

習志野市では、平成25年4月より県内で初めて骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）とドナーが従事する国内の事業所に助成金を交付する「骨髄移植ドナー支援事業」を開始しました。

この事業は、非血縁者間の骨髄移植や末梢血幹細胞移植のドナーとなった市民に提供1回につき10万円、ドナーが従事する事業所にドナー1人あたり5万円の助成を行うものです。

骨髄移植ドナーになりたいと思っても、入院している間は収入が途絶えてしまうことからドナーになることが難しいという声があったため、入院中の所得補償をすることで非血縁者間の骨髄移植に対する障壁を取り除きたいという思いのもと、本事業を導入しました。

平成25年度に助成申込はありませんでしたが、平成26年度はドナーとなった市民お一人に対して10万円を助成しました。（ドナーが従事する事業所にも、助成制度のご案内を差し上げたのですが助成の申込がありませんでした。）

現在事業が始まって3年目となりますが、市民の皆さんや事業者への事業の周知がまだ足りていないと感じています。習志野市や習志野商工会議所の広報紙に記事を掲載し、市公式ホームページにも掲載していますが、担当としては他の方法で何か良いものがないか悩んでいるところです。千葉の会の皆さまがもしよいアイデアをお持ちでいらっしゃるなら、ぜひ習志野市健康支援課にお声掛けください。

以上、簡単ではありますが習志野市の骨髄移植ドナー支援事業の紹介といたします。もしお知り合いの方が習志野市にお住まいでしたら、ぜひ本事業をご紹介して下さると幸いです。（習志野市役所健康支援課）

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

年会費； 3,000円（学生1,000円）

振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

口座番号 00160-6-547168

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2015年6月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数
ドナー登録者数	452,845	+1760	13,311	+1
累計患者登録者数	45,318	+548	1,765	+20
累計移植例数	18,366	+206	571	+1

会員自己紹介 ～菅谷吉信～

はじめまして 菅谷吉信と申します。香取市小見川在住です。
 今年説明員資格を取得し、これから一人でも多く骨髄バンクに登録して頂ける方が増え、病気の方々が助かる可能性が1%でも上がるように活動していきます。
 約2年前に骨髄バンクのイベントに参加し、自分自身にも出来る事があるのでは無いかとまた、10年以上前に友人が白血病で亡くなったことにも思いが巡り、ここまで時間を掛けてしまいましたが、助かる可能性が増えるなら活動しようと思いました。
 スポーツのフィットネス関係で仕事をしており、健康な方々が多い業界です。
 「人と人の繋がり」を目的としたサークル活動を業界内で活動しており、その活動と合わせて、健康な方々に向けた骨髄バンク登録活動を行っていこうと思います。
 「人と人の繋がり」という名のもと、皆が皆、良い方向に向くのが私の想いです。若輩者ですが、どうぞ宜しくお願い致します。



事務局を移転します。

前前任の木村さんから前任の遠山さんと長らく船橋市だった事務局ですが、新事務局長交代に伴い千葉市に移転することになりました。皆様ご登録の変更をお願いいたします。

(会報が届く頃には、移転していると思います。)

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方
 TEL/FAX : 043-497-5083

ここからの寄付

ありがとうございます

小川 延子 様	5,000 円
山本 弘之 様	7,000 円
遠藤 信行 様	2,000 円
小俣 和雄 様	2,000 円
栗原 やす子 様	7,000 円

新社会人通信 (その式) 吉澤耕介

千葉の会の皆さま、お久しぶりです。吉澤です。長野は7月中旬あたりから一気に蒸し暑くなって、そろそろ大量発生中のマイマイガが成虫になって空を独占する季節がやってきます。去年は千葉にいたので彼らの恐ろしさはまだ伝え聞いているだけですが、夜道は出歩かないようにしています。

とは言うものの、社会人として、金曜日の夜は出歩かないわけにはいきません。昨日(7/24)も職場の暑気払いのため長野駅前に繰り出しましたけどね。(笑) 先に社会に出た友達が「職場の飲み会は辛い」と言っていたけれど、そんなことは全くありません。本当に面白い。意外や意外、課長と読売巨人軍の話で大盛り上がりしたり、年齢の近い先輩たちと恋愛の話をしたり。たまに仕事について熱く語ってくる上司もいますが、これもまだ今のところは興味深いです。

18歳まで過ごした長野とはまた違った長野を見ることができています。マイマイガの襲来も、その一部ということで受け入れたいと思います。

今後(8~9月)の予定(お知らせ)

ドナー登録会

- ・8月5日(水) 市川市役所
- ・8月6日(木) 山武市成東保健福祉センター
- ・8月12日(水)、13日(木) 千葉県庁
- ・8月17日(月) 袖ヶ浦市保健センター
- ・8月18日(火) 習志野市役所
- ・8月19日(水) 旭市保健センター
- ・8月21日(金) 津田沼献血ルーム
- ・8月21日(金) モリシア津田沼

定例会予定

日時 9月6日(日) 14時00分 ~
 9月27日(日) 14時00分 ~

場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

<リレーつうしん>

白血病といえば、ひと昔前までは『不治の病』の象徴でした。しかし最近の医学の発達により『治る病気』となってきました。(もちろん、病気の進行度合いや状態、種類によっては必ずしもすべてが治るわけではありません。)

人間の体は他の様々な疾病に罹患する可能性があり、ある年齢に達した方々は、定期的に人間ドックなどを受診することをお勧めします。特に女性に多い乳がんなどは、血液疾患とは比べられない程の発生率です。検診による早期発見は人生をより豊かにするだけではなく、社会保障にもたらす影響も少なくありません。(戸辺)